



海鳴りの聴こえる古びた写真館。
取り壊しの決まったその家にやって来る姉と弟。
ふたりはかつて暮らした日々の思い出を訥々と語りだす。



清水邦夫が多摩美術大学で学生の卒業公演のために書き下ろした本作は、後に木冬社による上演を経て、前橋文学館でもリーディング上演を重ねてきた。2024年、清水が反戦の願いを込めた本作に、演劇／微熱少年の加藤真史が新たな風を吹き込み好評を博した新演出をさらにブラッシュアップ。豪華キャストに新たな仲間も加わり、80年目の長崎原爆の日にお届けする、待望の再演。

清水邦夫 1936-2021

「時間はふしぎな作用をもたらす。どんな残酷な戦争の跡も、年月がたつにつれて名所となり観光地となる」

わが国が原爆を体験した広島、長崎にも同じことがいえると思います。誰もがその事実を頭にしっかりと記憶させているにもかかわらず、時間が流れるなかで、なにかが次第に薄れていくのを感じます。しかし、このことはやはり未来のために、くり返し思い出していかなければならない、けして忘れてはならない出来事だと思います。

『イエスタディ』という題名は、ビートルズの曲名からとったものですが、この題名にしたのは「昨日のこのように忘れてはならない」という思いからです。

このドラマは作者・清水の少年時代の体験から得たもので、新潟県の田舎が舞台になっています。東京から疎開してきた親戚の子供たちと一緒に生活した日々、そして彼等がある事情から長崎へむかい、全員被爆したことの事実……それからヒントをえて、この作品を書きました。

すべてが夢のように悲しい現実です。しかし、わたし達はこの現実を＜ドラマ＞という形式を通じて、くり返し再現していきたいと思います。

(戯曲デジタルアーカイブより転載)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 作 | 清水邦夫 |
| 演出 | 加藤真史 |
| 美術 | 清崎賢二 (六尺堂・青年団) |
| 照明 | 深町友基 (TM Light Company) |
| 音楽音響 | 加藤真史 |
| Cover Art | 池田実穂「黙示録」 |
| 当日運営 | 栗原一美 成澤陽子 |
| 協力 | 木冬社 レトル 青年団 六尺堂 アップスアカデミー |
| 企画制作 | 演劇／微熱少年 加藤総合研究所 |
| 主催 | 前橋市 萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館 |

【観覧料】 1,000円

お問い合わせ・お申込み
前橋文学館 TEL 027-235-8011
予約開始 6月14日(土)より前橋文学館にて

前橋文学館公式



萩原朔美
HAGIWARA Sakumi

前橋文学館特別館長、多摩美術大学名誉教授、アーティスト、演出家、映像作家、演劇実験室・天井桟敷の俳優・演出家として活動開始。退団後は雑誌「ビックリハウス」を手掛け渋谷発のサブカルチャーの仕掛け人としての顔を持つなど多彩な活動。2025年、満を持して詩作の活動を開始。「文学館から文学環へ」を標榜。



鄭 亜美
CHONG Ami

俳優・ダンサー。平田オリザが主宰する劇団青年団に所属。主な出演作品に「東京ノート」「革命日記」「ソウル市民1919」「銀河鉄道の夜」等。山内ケンジ監督映画「夜明けの夫婦」「アジアのユニークな国」主演。近年はダンス作品にも多く出演しており、伊藤直子、小野寺修二、近藤良平、黒田育世の作品に出演している。



大竹 直
OTAKE Tadashi

群馬県邑楽町出身、多摩美術大学で清水邦夫に学ぶ、文学座演劇研究所を経て青年団所属、映画「ほとりの朔子」(深田晃司監督)、NHK大河ドラマ「青天を衝け」平岡準役など、演劇／微熱少年「すべて重力のせいだ」など。ぐんま次世代映像クリエイターコンペ最優秀賞「ものがたりの予感」(鯉岡弘義監督)出演。



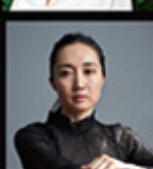
田村 菜穂
TAMURA Nao

俳優。木野花ドラマスタジオ4.5.6期生、劇団唐組・新人公演「水中花(透明人間改め)」、劇団唐組・横浜赤レンガ倉庫1号館柿落とし若手公演「赤い靴」、劇団唐組「系女郎」、映画「ロボット修理人の愛」「世界は僕らに気づかない」、演劇／微熱少年「めいくみいすまいる、あけいん」など。



川田 夏実
KAWADA Natsumi

俳優。多摩美術大学卒。アップスアカデミー所属。在学中より御茶の水美術学院講師として勤務。舞台制作の仕事に従事する傍ら身体表現に関わる活動を継続。映画「シュトルム・ウント・ドランク」(監督:山田勇男)伊藤野枝役など。演劇／微熱少年「エレジー」出演、「めいくみいすまいる、あけいん」では振付を担当。



新島 沙結
NIHJIMA Sayu

群馬県出身。幼少より音楽と身体表現に親しみ、11歳から本格的に演劇活動を始める。足利ミュージカル研究生9期卒、中学では演劇部部長を務め、群馬県中学校演劇祭に5回出場、審査員特別賞(個人)を受賞。高校ではダンス部に所属し、この夏より部長に就任。演劇／微熱少年旗揚げ公演である「緑側アロハ」に出演。



林 健樹
HAYASHI Kenju

俳優。劇団青年座4期。『Gメン75』『大江戸捜査網』『遠山の金さん』『大岡越前』『影の軍団III』、土曜ワイド劇場東映特撮ヒーローなど多数出演。『科学戦隊ダイナマン』では白馬の王子メグロ役(レギュラー)。映画『嘉吉の箭弓一投』『Me? Xavier!』『変身』、前橋文学館リーディングシアター『私はまだ踊らない』(作・演出:加藤真史)。



加藤 真史
KATO Masashi

群馬県沼田市出身。演劇／微熱少年主宰、劇作家・演出家・音楽音響家・ドラマチーチャー。平田オリザの私塾無隣館4期演出部で学ぶ。戯曲デジタルアーカイブに作品収録、『めいくみいすまいる、あけいん』EPADセレクション採択。日本劇作家協会会員。上毛新聞オピニオン委員31期。群馬県立太田フレックス高校非常勤講師。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL 027-235-8011 FAX 027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>

アクセス(交通案内)

- ◆ 電 車: JR前橋駅北口から徒歩約15分 / タクシーで約10分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩5分
- ◆ バ ス: JR前橋駅北口バスのりば
・3番のりばから「中央前橋駅」行き(シャトルバス)
「中央前橋駅」下車 徒歩約5分
・6番のりばから「荻窪公園・嶺公園」行き
「城東町二丁目バス停」下車 徒歩約5分
- ◆ 自動車: 関越自動車道 前橋ICから車で約15分



※広瀬川サンフバーキング(市営P城東)をご利用の場合、駐車場に割引処理を致します。

2025年 8月9日(土) 前橋文学館 3階ホール 14時開演 開場は開演の30分前

前橋文学館 INFORMATION ①2階企画展示室 第32回萩原朔太郎賞受賞者 最果タヒ 展 6月7日(土)～9月21日(日)
②3階オープンギャラリー 猫町を包む展 6月28日(土)～9月7日(日)